

学校給食のアンケート結果から見る、在り方検討の視点

児童生徒・保護者・教職員に対して実施したアンケートから、学校給食への思いや、傾向が見えてきましたので、在り方検討に当たり、以下の点を特に考慮していききたいと思います。

【児童生徒】のアンケート結果から抜粋

①	給食が好きな理由で、一番多かった理由	「おいしい」
②	給食に江別市でとれた野菜が使われていることを知っている割合	84.6%
③	学年を重ねると、地元産野菜の活用について「知っている」割合が高くなる傾向	
④	「苦手なものがでる」と回答した割合は、学年を重ねるごとに低下していく傾向	
⑤	給食が好きな割合は、低学年が一番高く、中学年以降は、若干下がる	

結果を踏まえて、

- ① → 給食の質は、維持及び向上を図っていきたい。
- ②③④ → 継続した食育の推進が大事である。
- ⑤ → 学年が上がっても、給食を好きでいてもらう工夫が必要である。

【保護者・教職員】のアンケート結果から抜粋

①	給食に満足している理由	「栄養バランスが良い」「おいしい」「種類が豊富」
②	学校給食において、重要だと思うこと	「栄養バランスが取れていること」 「子どもがおいしく食べられること」 「衛生管理の徹底など、安全な給食であること」
③	学校給食に期待するもの	「栄養バランス」 「温かくおいしい食事が食べられること」 「衛生管理の徹底など食の安全性」
④	調理方法について	これまで通り、安全・安心な給食が提供されることが大事
⑤	積極的に江別産の野菜を使用していることを知っている割合	保護者 89.1% 教職員 98.1%

結果を踏まえて、

- ①②③ → 給食の質は、維持及び向上を図っていきたい。
- ④ → 安全・安心を前提に、あらゆる可能性の中から在り方を検討していきたい。
- ⑤ → 保護者や教職員を巻き込んだ食育を、継続して推進していきたい。